

投稿論文執筆要領

ふくい地域経済研究編集委員会

■ 投稿規程 ■

投稿論文の種類は研究論文 (Article)、短報 (Research Notes)、フィールドノート (Field Notes) に分けられる。研究論文は、広く経済・社会・産業分野で、福井県についての研究、もしくは福井県に有益な著作であって、分析視点もしくは研究手法に何らかのオリジナルな成果を有し、執筆要領にしたがって執筆された、未発表のものとする。なお、投稿原稿の採否は、編集委員会が委嘱する審査委員の審査を経て編集委員会が決定する。

短報は、福井県についての調査研究や政策提言、または、世界の諸情勢や調査研究を踏まえた福井県への示唆で、執筆要領にしたがって執筆された、未発表のものとする。なお、投稿原稿の採否は、編集委員会が決定する。

フィールドノートは、調査の記録、企業や工場などでの聞き取り調査の結果等をまとめたもので、執筆要領にしたがって執筆された、未発表のものとする。なお、投稿原稿の採否は、編集委員会が決定する。

■ 執筆要領 ■

1. 原稿の作成

- 1) 本文はA 4 版白紙片面をたてに用いる。1 ページあたりの分量は20(文字)×35行×2段(1,400字)とする。刷り上りページは、研究論文で図表を含め20ページ以内、短報、フィールドノートで図表を含め15ページ以内とする。
- 2) 論文には要約、キーワードをつける。要約は400文字程度、キーワードは5語(句)以内とする。

2. 原稿の提出

- 1) 原稿は原稿コピー2部および電子ファイルを、所定の送付状を添えて編集委員会に提出する。

3. 原稿の送付状

- 1) 日本人などの著者名のローマ字表記では、INOUE Takashi のように姓を先にし、姓はすべて大文字で記す。

4. 本文

- 1) 表題は中央取りとする。
- 2) 章タイトルは左詰とする。章にはローマ数字+ピリオド「I., II., …」を用いる。
- 3) 節タイトル、項タイトルは左詰とする。節には全角スペースを・ひとマスあけてからアラビア数字+ピリオド「1. 2. …」とする。項には「(1), (2), …」の番号をつける。
- 4) 注は本文のあとにまとめて記す。注番号に括弧はつけない。
- 5) 本文中の欧文文字、数字はすべて半角とする。数字は熟語などの特別な場合を除き、アラビア数字を用いる。ただし大きい数字は「万, 億, 兆」などの漢字を使用してもよい。分数は $1/2$ とせず、 $\frac{1}{2}$ とする。
- 6) 年号は、原則として西暦を用い、必要に応じてその後に元号などを括弧に入れて併用できる例：2005（平成17）年。
- 7) 句読点は、ピリオド< . >, カンマ< , >を用いる。
- 8) 図、表は本文中に挿入する。図、表それぞれに通し番号をつけ、図1…、表1…のような形で記載する。なお図、表は印刷時に約86%に縮小されることを考慮し、見やすさに注意すること。図、表の資料、出所は右寄せとする。

5. 参考文献の引用

- 1) 参考文献の引用は例に倣い、著者の姓、発表年を書く。
例：佐藤（1999）によれば…、青木（2001a）では…
…が指摘されている（佐藤1999）。Soja et al（2001）では…
- 2) 参考文献表は本文末尾に和文献、洋文献の順に並べる。和文献は著者名のあいうえお順、洋文献は著者名のアルファベット順、それぞれ年代順に並べる。同一著者の同一年の文献は、引用順にa, b, c…を付して並べる。
例：佐藤一郎（1999）「鯖江の眼鏡産業の形成」『地域と経済』Vol.19, No.3.
青木太郎（2001a）『地域経済論』福井書房。

(2005年8月決定)

(2014年8月改定)

(2020年4月改定)

(2024年4月改定)

▽投稿論文の募集について

ふくい地域経済研究では投稿論文（研究論文、短報、フィールドノート）を募集しております。第39号（2024年9月）の締切りは2024年5月1日（水）となっております。投稿規程をご確認のうえ、原稿のコピー2部、電子ファイルおよび投稿申込書を添えて、地域経済研究所事務局まで提出くださいますようお願い申し上げます。